

「村の鍛冶屋から始まったKATOグループは創業125年。国内でのものづくりにこだわりたい」と語るのは、金属製品製造業加藤製作所（中津川市駒場）の加藤景司社長（51）。60歳以上の積極的な雇用で知られ、グループ従

近況

業員約160人のうち60歳以上が60人ほどを占める。

家電、自動車、環境、住宅、航空機などの幅広い分野から受注。業務用を中心に好調な太陽光発電システムでは、主に大手メーカーの関連部品を製造する。会社のビジョンに

125周年、ものづくり追求

「日本のものづくりの礎になる」を掲げ

「高いレベルの技術に挑戦して差別化、独自化を図り、顧客に喜んでもらえるようにしたい」と意気込む。

社会貢献にも力を注ぎ、125周年記念事業として、21日に東日本大震災の被災地を支援するチャリティー講演会とコンサートを開く。

